

平成30年(2018年)11月16日(金曜日)

現新3氏の戦いへ

三島市長選 来月16日投開票

任期満了に伴う三島市長選(12月9日告示、同16日投開票)は15日までに、出馬を表明している現職、新人の計3氏による

任期満了に伴う三島市長選(12月9日告示、同16日投開票)は15日までに、出馬を表明している現職、新人の計3氏による

反現職の一本化不調

る戦いの構図がほぼ固まった。争点になる見通しの三島駅前再開発事業の是非を念頭に、票の分散を懸念する反市長派が候補者の一本化を図ったが、不調に終わった。

を狙った。8日夜、石井氏に近い建設会社社長と市民団体の代表が出馬表明を取り下げるよう石井氏を説得したが、同氏は「1年以上前から準備してきた」と受け入れなかった。

これに対し宮沢氏と石井氏は、いずれも再開発の必要性は認めつつ、現行案について市民合意の不十分さや事業規模を疑問視している。宮沢氏は「優先すべきは南北自由通路の建設」とし、

石井氏は「公共施設の維持管理など包括的に踏まえて答えを出すべきだ」とのスタンスを取る。現市政に否定的な有権者からは「現職への批判票は確実に割れる」と不満が出ているが、一方で「候補者としての2人の個性は違い、(西氏の出馬は)やむを得ない」との声も聞かれる。西氏の挑戦を受ける形の豊岡氏は取材に「相手のことは意識せず、政策と信念を貫いて市民の判断を仰ぎたい」と答えた。